

第5回 商工センター地区まちづくりビジョン検討会 議事要旨

1 検討会名称

第5回 商工センター地区まちづくりビジョン検討会

2 開催日時

令和6年12月27日（金） 午後2時00分～3時20分

3 開催場所

広島サンプラザ2階 銀河の間
(広島市西区商工センター三丁目1番1号)

4 出席者

(1) 委員（委員9名中9名出席）

(2) 事務局

都市整備局 都市機能調整部商工センター地区活性化担当 担当部長、担当課長、ほか関係職員
(関係部局等)

市民局	スポーツ振興課長
経済観光局	経済企画課長、雇用推進課長 商業振興課長、 観光政策部長、MICE 戦略担当課長 水産課長 新市場建設担当課長
都市整備局	都市計画課長
道路交通局	道路計画課長 鉄軌道担当課長
西区	建設部長

5 議題

商工センター地区まちづくりビジョン（素案）について

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴人の人数

一般傍聴者13名

8 検討会資料名

次第

委員名簿

資料1 商工センター地区まちづくりビジョン（素案）たたき台

資料2 商工センター地区まちづくりビジョン（素案）たたき台 概要版

9 各出席者の発言の要旨

事務局

それでは、第5回商工センター地区まちづくりビジョン検討会を開会する。

戸田（常）座長

本日の議題は、「商工センター地区まちづくりビジョン（素案）」についてである。これまで4回にわたって開催した検討会での御意見を踏まえて、本日、資料1として「商工センター地区まちづくりビジョン（素案）」を、また、資料2としてその概要版が提出されている。

事務局から資料1及び資料2の説明を一括して願います。

事務局

（資料1、資料2を説明）

戸田（常）座長

ただ今の説明について、御質問、御意見をいただきたい。

伊藤委員

この件について、これだけうまくまとめたことについて深く感謝する。この計画の一日も早い着手を願ってやまない。

湯蓋委員

地域という立場から商工センター地区の特徴・特色を生かした表現となっているかが少し気にかかっている。例えば、一般的には地域発展の中核となる商業施設等は1か所の地域が多いと思うが、商工センター地区では、アルパーク、LECTに加え現在整備を進めようとしている中央市場・草津漁港周辺の3か所の大きな拠点がある。それらを上手につなぐことで回遊性を高め、滞在時間を長くすることが可能になり、地域の活性化にもつながるものとする。こうした、商工センター地区にしかない利点がどのようにビジョンに反映されているのか説明してほしい。

事務局

素案の29ページを御覧いただければと思うが、先ほど御紹介いただいた中核となる施設、アルパーク、LECT、市場を含む漁港といった拠点を結びながらにぎわいを広げていくために、MICE、交通、にぎわいの取組をそれぞれ進めていくことで、29ページ下の図のようなイメージを表現している。

回遊性について、交通の取組で具体的に記載しているものとしては、循環交通やパーソナルモビリティ

ティがあり、規制緩和等によって施設間のにぎわいを面的に広げていくことにも力を入れて記載している。

戸田（常）座長

事務局としては、素案に含まれているという説明であり、29 ページを御覧いただくと、回遊性についても意識されていると十分捉えられる。

ほかに御意見等はないか。

奥野委員

広島商工会議所にもグローバル MICE 検討特別委員会を設置しており、先日、前回の検討会資料を広島市から当委員会に御説明いただいたところである。

様々な意見はあったが、商工センター地区がにぎわうことで改善されていくことや、広島南道路等ができて車が流れていくようになることについては、非常に好意的な意見をいただいている。

先ほど伊藤委員から御意見があったように、ビジョンの早期実現に向けて動いていただくことが結果につながっていくことになるので、経済界においても西広島バイパスの延伸工事の早期完成等に協力するなど積極的に取り組んでいきたい。

戸田（常）座長

方向性については賛同いただけるということ。

それでは、専門的な視点から西本委員いかがか。

西本委員

委員の中で広島県外から参加させていただいているのは私だけだが、そもそも街づくり提案が地元の経済団体から提出されたということに驚きを持つとともに、こうした地域からの提案に対して行政が真摯に応えているということにも感銘を受けている。

また、展示場施設を整備する場合の需要予測については非常に手堅くやっていた。あとは、その実現に向けて、MICE 施設を世界にどう売り出していくのか、ブランディングやマーケティングなどの課題があると思う。それらについては、この地域を担う次世代の若者が中心となって考えていくのがいいのではないかと考えている。今後の広島の MICE 戦略に非常に期待している。

戸田（常）座長

評価できる点を御指摘いただいた。

巻末資料の 33 ページになるが、SDGs は、国際会議等の共通用語になっている。これを敢えて巻末に入れたということは、これから世界を見据えてビジョンを打ち出していくという姿勢の表れと受け取ったがどうか。

事務局

上位計画となる広島市総合計画において、「国際平和文化都市」の具現化に向けた本市の大きな方

向性としてSDGsに貢献していくことになっているため、それらを勘案して本ビジョンでも同様に記載している。

戸田（常）座長

上位計画自体が世界的な視野を持って策定されていると理解した。

そのほか御意見を伺いたい。

南浦委員

これまでの検討会の意見を踏まえた内容になっているのがありがたい。

また、地域の方から要望をいただくが、この地区のまちづくりの将来像が明確になってきたので、それを見据えた上で対応することができる。例えば、西部周遊緑地の再整備や乗降場の整備などについては、区で検討を進めているところであるが、このようにビジョンに位置付けることで、方向性を一緒にして今後取り組んでいける。

秋田委員

経済観光局では、MICE 施設の新設、規制緩和、港周辺のにぎわいなど多岐に渡る事業を所管しており、一つ一つを着実に進めてこの地区の持続的な発展につなげていきたいと考えている。事業を進めていくに当たり、一緒に取り組んでいく必要があるため、ビジョン策定後も引き続き御協力、御指導をお願いしたい。

ビジョンの内容のブラッシュアップという観点で一つ申し上げたい。6 ページを御覧いただくと、「⑦草津漁港」に記載しているとおおり、草津漁港への観光船の就航については、「水の都ひろしま」推進計画でもその取組を位置付けている。具体的な内容としては、広島港から呉・松山を結ぶ旅客船や、原爆ドームと宮島を結ぶ「ひろしま世界遺産航路」など多くの定期船が運行されているが、水上交通の更なる利用促進に向けて、引き続き、民間事業者や関係機関と連携し、新中央市場の整備にあわせて草津漁港に旅客船を就航させる等の川と海をつなぐ航路の開発など、航路の拡大について検討することを記載している。このため、26 ページの「コンセプト3 にぎわいの創出」には、「並行して草津漁港への観光船の就航による海からのアクセスを確保する」という記載の前に、『「水の都ひろしま」にふさわしい川と海をつなぐ航路ネットワーク拡大の一環として、』と付け加えれば、本市の取組との関連性も分かりやすくなると思う。

事務局

「水の都ひろしま」推進計画については、草津漁港への旅客船を就航の検討の位置付けを事実として記載しているところであるが、委員御指摘のとおり、「コンセプト3 にぎわいの創出」のところにも記載することで、具体的に取組が連携できると考えるため、対応を検討させていただきたい。

戸田（祐）委員

先ほど、湯蓋委員からも御意見のあった 29 ページの将来イメージのように、施設それぞれを交通でつないでうまくコンビネーションさせることが重要となるが、環状と放射という形で処理するとい

う基本的な考え方が反映されている。LECT や西部周遊緑地、中小企業会館、新井口駅などの既存施設をリニューアルないし拡充する中で、28 ページのネットワークの将来イメージのように海からのアクセスを広義に考えていくと草津漁港の位置付けが非常に重要となる。ここをしっかりとやらないと、提案にあるペDESTリアンデッキをつないでくるところが非常にぶれてくる。

18 ページの「(3) まちづくりの将来像」で、「将来像」という見出しの下に、文章、図、さらに下に将来像が書いてあるのでちょっと分かりづらい。将来像の枠が矢印となっており下の基本コンセプトにつながっていくという意味合いかと思うが、将来像が一番高い位置にあるべきであると思うため、なにか工夫できないか。

事務局

ネットワークの広がりについては、漁港を活用できるよう、所管している広島県としっかり協議しながら、実現に向けて取り組んでいきたい。

また、将来像の記載については、読んでいただく方が分かりやすくなるような構成がよいと考えるため、どのように対応できるか検討させていただきたい。

西野委員

都市整備局は、都市公園や都市計画等の所管としての立場とビジョンを策定する事務局としての立場という二つの側面がある。後者の立場から申し上げますと、様々な課題がある中で、地域からの提案をどう実現させていくか、また、合理的に進められるかという点に長い時間心を砕いてきたところである。本日、5 回目の検討会を迎える中で、ビジョンの素案までたどり着けたことは、委員の皆様の真摯な御意見、御助言のおかげであると思っており、ここまでやってこられたことに感謝申し上げます。

戸田（常）座長

伊藤委員を中心としてまとめられた 13 から 14 ページの「商工センター地区街づくり提案」を出発として、15 ページのビジョン検討会において、個々の提案に関わる課題整理や提案実現のための手順、そして課題相互の関係、これらを踏まえた検討を行い、この作業を通じてまちづくりの全体ビジョンを形成し、その実行可能性を検証したというのがこの会議の経緯であったというように思う。

それでは、ビジョン素案も含めて会議全体での御意見、御感想をいただきたい。

西本委員

今回、素案をまとめたのは展示機能を中心とした MICE 施設である。展示会・見本市は企業にとって伝統的かつ重要な BtoB・BtoC マーケティング手法である。商工センター地区に新たな MICE 施設を設置することは、この地域の企業にビジネスチャンスや経済効果をもたらし、地域や都市のブランドを高める効果も期待できる。さらに、MICE 参加者は世界中から訪れるので、その利便を確保するためには、まず草津漁港周辺で常にインバウンド客が訪れるようなにぎわいを創出し、広島空港から広島駅、商工センター地区、草津漁港を一直線に結ぶバス定期便を走らせることが望ましい。

また、他都市の例では、MICE 施設をつくった後すぐそばに似たような施設ができてしまい、お互い

が開催案件を奪い合う状況に陥ることがある。これを避けるためには、MICE 戦略は商工センター地区だけで考えるのではなく、広島エリア内の MICE 施設が目的・規模別にどう棲み分けるべきなのか、広島県、広島市、さらには民間事業者も含めて広島エリアでの MICE 戦略を議論する場を設けると良いのではないかと思う。

なお、私が所属する立命館大学ビジネススクールでは4月から観光MBAを設置しており、多数のMICE 関連科目やDMO科目を開講している。今回の検討会での意見交換をもとに作成されたビジョン素案は非常に貴重な教材になり得るため、ぜひ学生にもこの内容を紹介していきたいと考えている。

戸田（常）座長

他に全体を通じていかがか。

伊藤委員

提案する前には地元の広島商工センター地域経済サミットで会議を持ってやってきたので、このビジョンが策定された後は、サミットとして会員に説明する場が必要であると考えており、その際は、市から説明をお願いしたい。

2点目として、MICE 施設完成後、誰が運営するのかという話になる。おそらく広島観光コンベンションビューローになるかと思うが、組織上の課題を解決しないと運営は難しいのではないか。運営に関する検討もあわせてしていかないと施設を有効活用できないと思う。

3点目として、広島南道路の実現については、かなりの努力が必要になると思う。

商工センター地区内が渋滞でどうにもならないということにならないよう、一刻も早く広島南道路の全線開通を実現していただくため、相当早い動きが必要になるのではないか。

以上、3点ほど、お願いもあるが申し上げた。

戸田（常）座長

3点大事な御意見をいただいた。事務局いかがか。

事務局

まず、ビジョン策定後に周知を行い、共有していくということは大前提となるので、個別に相談させていただきながら実施したいと考えている。

MICE 施設の運営については、ビジョン策定時点では、まずは新たな MICE 施設をつくっていくという大きな方向性を協議させていただいた。運営面についても今後一緒に考えていかなければならないと認識しているので、今後、施設の具体化にあわせて検討させていただきたい。

また、広島南道路については、所管と協議しながら、本市としてできること、国に対してどのように要望していくかということについて今後検討を深めていきたいと思う。

事務局

少し補足させていただく。

まず1点目について、ビジョン策定後のまちづくりは、地域と行政が一緒にやっていくものである。

地域と行政が一緒にまちづくりを進めていく段階において、その連携を確かなものにしていくために、意識合わせや確認をしていく必要があると考えており、これについても地域と一緒に対応したい。

伊藤委員

こちらこそ。

事務局

もう1点、広島南道路については、この地域だけでなく都市圏全体にとって必要な道路であり、これまで期成同盟会などで要望活動をしているが、このビジョンを策定し、この商工センター地区でまちづくりをしていくことこそ、国へのアピールになり、更なる推進力につながると思っているため、今後とも地域や他の自治体とも連携しながら要望していきたい。

伊藤委員

それは理解しているが、優先順位が気になっている。難しいとは思いますが、広島市の要望の中で、広島南道路を1番にしていきたい。

戸田（祐）委員

広島南道路ということなので私の方からも発言させていただく。伊藤委員の御意見はごもっともであり、我々も早くつくりたいという思いは変わらない。ただし、伊藤委員も御存知のように広島南道路は海田から廿日市までつながっており、今はその両端に取り組んでいるところである。広島南道路は高架道路と平面道路があるが、道路はつながないと意味がないので、上でも下でもいいからとにかくつなぐというコンセプトで国・県・市で進めてきた。全線を高架道路でつなげるべきというお話もあろうかと思うが、現在、海田の明神高架や廿日市インターと木材港の間といった両端がつながっていない状況であり、まずはそこをつながないと一気通貫な道路ができないため、そこを重点的に要望している。

その次をどうしていくかということについては、ビジョンを策定したことが強力な武器になるので、これを使って引き続き早期実現に向けて一生懸命やっていきたいと考えており、引き続き御協力をお願いしたい。

伊藤委員

承知した。

MICE施設の運営については、誰が運営するのか、早期に結論を出していかないといけないのではないかと思う。

事務局

重要な御指摘をいただいたと受け止めている。施設をつくって終わりではなく、その後どのように運営してこのまちに、さらには広島全体に寄与していくかということが非常に重要であるため、運営についてもセットでしっかりと検討していきたい。

戸田（常）座長

同時平行的に検討するということである。
ほかに御意見等はないか。

南浦委員

資料には「(素案) たたき台」とあるが、この後どのような流れでビジョン策定につながるのか。

事務局

検討会終了後、必要な修正等を加え、市議会への報告や市民意見募集を行った後に策定というスケジュールを考えている。

湯蓋委員

私は井口明神という地域を代表して出席しているが、このビジョンに地域として期待するものは、実際の生活のしやすさがどのように変わっていくのか、不便さがどのように解消されていくのかということである。このビジョンが実現していく過程でこうしたことが見えてくれば、地域の期待や頑張りにつながっていくと思う。地域も関わっていくので、地域も頑張ろうと思えるような力をこのビジョンで与えてもらいたい。

戸田（常）座長

これから実際にビジョン実現に向けての取組があるかと思うが、それらについての情報発信はどのような形で行われるのか。

事務局

ビジョン策定後の情報発信の方法については、どのような形が良いか相談させていただきながら検討していきたい。

戸田（常）座長

31 ページに役割分担とあるが、この連携・協働を具体的にどのような形ですか、例えば協議会的なものを形成するなどが考えられるが、現時点で何か考えていることはあるか。

事務局

協議会のような形をこの検討会の後立ち上げることは現時点では考えていないが、地域と引き続き連携していくという姿勢に関しては全く変わらないと考えている。

戸田（常）座長

どのような形になるかは別として、お互いの役割分担や連携等をしっかり実現できるような形をつくられることを期待する。

事務局

先ほど御説明したように、まちづくりを進めていく上では、地域と行政の連携を確かなものにしていく必要があると考えており、そういったことも今後、地域と協議しながら考えていきたい。

伊藤委員

実際に動き始めたら心配ごとは次から次に生まれると思うが、それが逐一私どもに情報が入ってくるとか、行政と一緒に進んでいるということが目に見えるような形になれば良いと思う。

戸田（常）座長

協議をよろしく願います。

ほかに御意見等なければ、ビジョン素案については取りまとめたものとして、このあたりで閉めさせていただきます。

今後、このビジョン素案については、市議会への報告、市民意見募集などの手続きを経て、3月中に「商工センター地区まちづくりビジョン」を策定すると聞いている。

本日いただいた御意見を踏まえた修正などについては、内容によっては各委員の御意見を直接お伺いしたり、あるいは私の方で判断できるようなこともあろうかと思う。そういった場合の対応については、私、座長と事務局で協議して決めさせていただきたいと思うがよろしいか。

（異議なし）

戸田（常）座長

それでは、そのようにさせていただきます。

事務局から連絡事項があればお願いしたい。

事務局

ビジョン素案という節目を迎えることができた。戸田座長をはじめ委員の皆様方には、昨年8月以降1年半にわたり大変お忙しい中、検討会に御出席いただき、貴重な御意見を頂戴した。改めて心より感謝している。

このビジョンは、地域からの提案をもとに、地域と行政と一緒にまちづくりを進めていくためのビジョンである。こうした共通認識の下で、埋立竣工後40年が経過し課題を抱えているこの商工センター地区の活性化を地域と共に図っていきたいと考えているので、引き続き御支援、御協力をお願いしたい。

戸田（常）座長

それでは、第5回商工センター地区まちづくりビジョン検討会を閉会する。

ありがとうございました。